

MINNA

MINAMI-TOYAMA

MIRAI

南富山駅周辺 まちづくり基本計画

概要版

(案)
富山市

目次

1. はじめに
2. 現状と課題
3. まちづくりの方針
4. 推進に向けた方策

I. はじめに

計画の目的

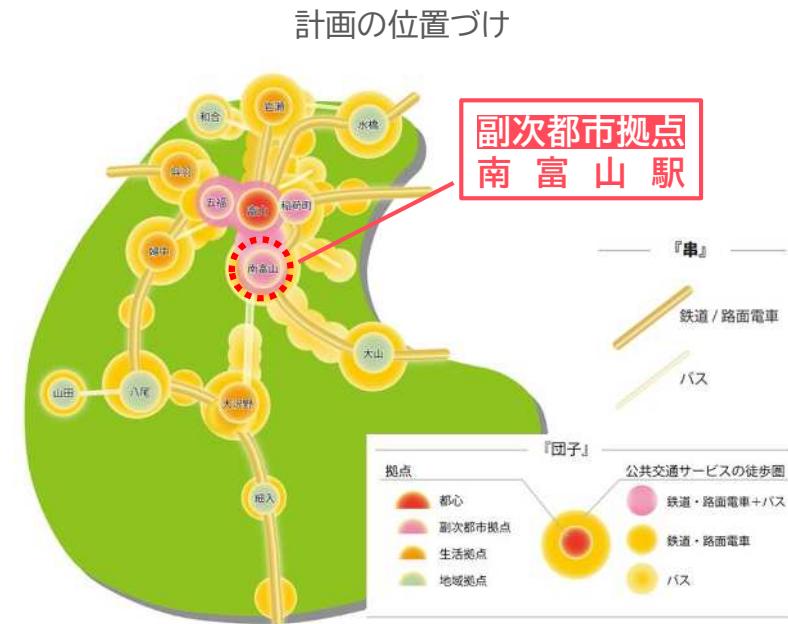
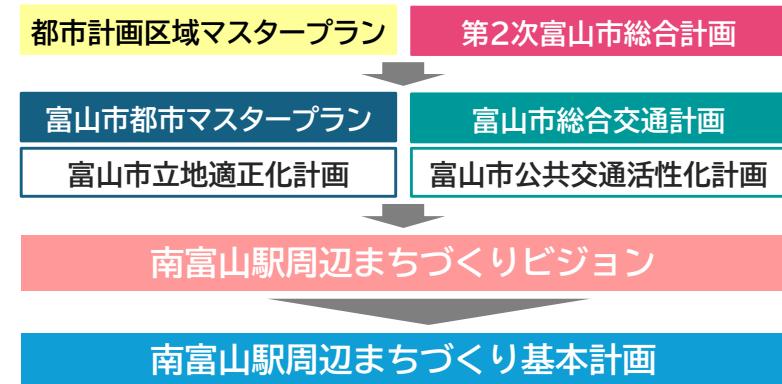
南富山駅周辺は、1914年の駅開業以降、公共交通の利便性と文教地区としての特性を背景に、駅を中心に賑わいのある駅前商店街や住宅地などのまちが形成されてきました。

一方、人口減少・高齢化等により、公共交通利用の減少や購買行動の変化が進み、駅を中心とした賑わいは低下しています。

こうした状況を踏まえ、市民や関係団体との対話を通じて、令和6年4月に「南富山駅周辺まちづくりビジョン」を策定しました。

さらに、令和8年度からの次期富山市都市マスター プランでは、南富山駅周辺を副次都市拠点に位置づけ、公共交通を軸としたコンパクトな都市構造の形成を目指しています。

南富山駅周辺まちづくり基本計画は、これらビジョン・上位計画に基づき、官民協働により駅を核とした南富山駅周辺まちづくりの方針を示すものです。

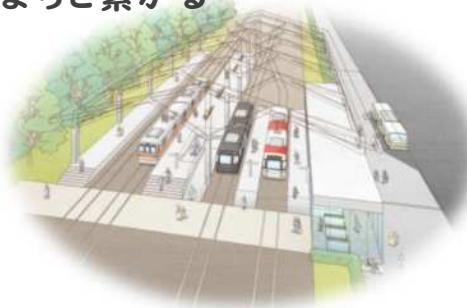


次期富山市都市マスター プランにおけるお団子の色付け

ビジョンで描く将来像

【公共交通】

シームレス(継ぎ目なし)に
まちと繋がる



望まれる取組み・活動

- ◎公共交通機関の強化 ◎待合環境の向上
- ◎利用しやすい駐輪・駐車環境 ◎公共交通と地域の連携促進

【移動】

誰もが、どこへでも
安心して歩くことができる



望まれる取組み・活動

- ◎バリアフリーな歩行空間 ◎自動車や自転車との共存
- ◎周辺道路とのネットワーク ◎安全な通行の啓発

【居住環境】

住みたい、住み続けたい
安全で豊かな環境が整っている



望まれる取組み・活動

- ◎緊急時にも安全な都市基盤 ◎身近な自然を感じられる空間
- ◎住民同士の豊かな繋がり ◎コミュニティを支える仕組み

【暮らし】

まちの中に自分らしく過ごせる
場所や目的がある



望まれる取組み・活動

- ◎日常の生活で使える居場所 ◎外と繋がる開かれた空間
- ◎滞留や来街行動を促す機能 ◎魅力を持続できる運営体制

【付加価値】

新しい学びやチャレンジに
触れる、できる、したくなる



望まれる取組み・活動

- ◎多目的な利用ができる空間 ◎地域内不動産の有効活用
- ◎教育機関や企業等との連携 ◎南富山を伝える情報発信

未来像の中での暮らし ~南富山で暮らす、南富山を使う1日~



みんなの多様な暮らし
が溢れる南富山に



朝は電車通学。
乗り換えがしやすくなつて、傘を差さずに待てるのもいい。



健康のために自転車通勤。
走行場所が分かりやすいし、駐輪場も十分にある。



駅周辺でお買い物。
段差もなくて歩きやすいし、身近な日用品が買えて助かる。



学校帰りに自習。
Wi-Fiも整ってるから、テレワークをしている人もいる。



晴れた日には外で散歩。
自然の中の休めるベンチで、近所の友達とついいつ長話。



休みの日は駅周辺でランチ。
こだわりのお店も増えてきて、路面電車が走る景色も特別感。



休日に部活のイベント発表。
出店やキッチンカーもあって、みんな楽しく聞いてくれてる。



自分の作品を見に南富山へ。
いくつになっても色々なことに挑戦できて、毎日が充実。



子どもを迎えるに駅まで。
送迎場所が分かりやすいから、安心して子どもを迎えるられる。



馳染の飲み屋で、ちょっと一杯。
電車で通勤しているから、仕事帰りに立ち寄れていいなあ。

計画の策定にあたり考慮する視点

①南富山駅周辺のポテンシャルを活かした拠点形成

- ◎人口集積が高く公共交通の利便性が高いエリア
- ◎小学校、中学校、高校などが立地する文教地区
- ◎駅前にはアーケード商店街

まちなかに次ぐ拠点としてのポテンシャルがあり、公共交通の沿線住民も含めた多様な暮らし方を支えるエリアとしての発展と拠点形成が期待されます。

②ウォーカブルなまちづくりの推進

- ◎本市はウォーカブル推進都市として、「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の実現を目指している

南富山駅周辺の商店街等と連携し、多様な人々が集い交流することができる「居心地が良く歩きたくなる」空間の創出が求められています。

③民間まちづくり活動の機運の高まり

- ◎2016年に地元の有志で組織する「南富山まちづくりを考える会」が発足
- ◎まち歩きや駅前空間を活用した社会実験など賑わいや魅力を創出するための活動を展開



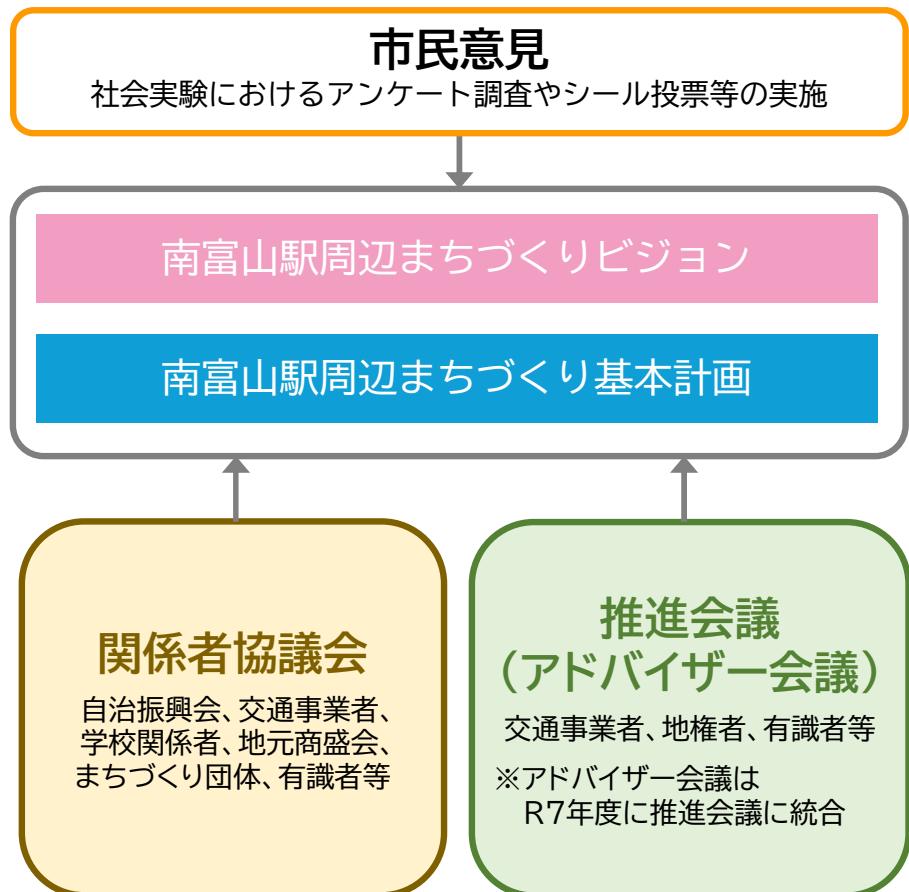
チャレンジする新たなプレイヤーの創出や、その活動を支え・育むために、南富山らしさを活かした、市民が主役となるまちづくり活動を促進し、活性化する取組が求められます。

計画策定の体制

基本計画の策定にあたっては、自治振興会や交通事業者、学校関係者、まちづくり団体、地元商盛会等で組織する**関係者協議会**、交通事業者、地権者、有識者等で組織する**推進会議**、を設置し、今後の取組方針等について検討を行いました。



関係者協議会の様子



計画策定の経過

取組・活動

会議

令和5年度（2023）

まちづくり対話会
◎交通・駅前空間編 ◎暮らし編



みみみ
(みんなのみなみとやまみーていんぐ)
◎南富山ごろくワークショップ
◎南富山シール投票



R6・4 南富山駅周辺まちづくりビジョン策定

令和6年度（2024）

社会実験
◎交通環境の整序 ◎滞留空間の創出



社会実験同日イベント企画
◎South Wind Festival 2024
◎ストリートファニチャー制作WS
◎ナイトタイム座談会／Bar hug-chig
◎公開型トークセッション



令和7年度（2025）

社会実験を踏まえた区画線の実装



まちづくり団体によるイベント
◎South Wind Festival 2025



R8・3 南富山駅周辺まちづくり計画策定

7/27

第1回
関係者
協議会

1/29

第2回
関係者
協議会

3/18

第3回
関係者
協議会

7/10

第1回
推進
会議

8/9

第1回
アドバイザー
会議

11/11

第2回
推進
会議

12/16

第4回
関係者
協議会

1/24

第3回
推進
会議

3/11

第2回
アドバイザー
会議

8/7

第4回
推進
会議

12/24

第5回
推進
会議

1/22

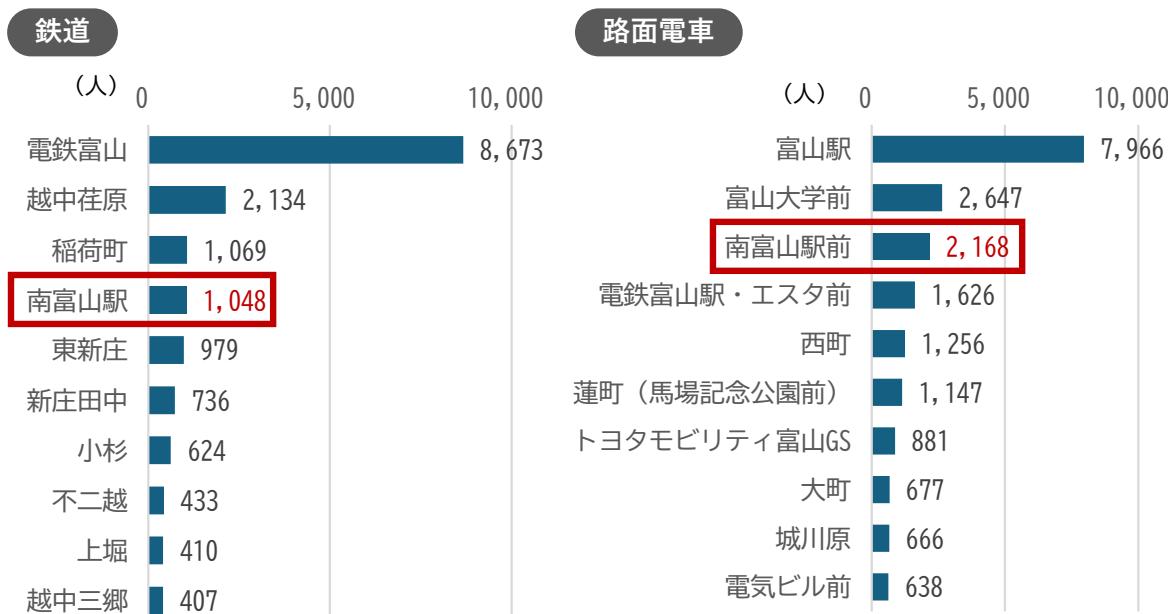
第5回
関係者
協議会

2. 現状と課題

「えき」に関わる課題

南富山駅は、市内第3位の利用者数を誇る重要な交通拠点であるものの、駅舎の老朽化や交通結節機能の不足により、都市全体の交通ネットワークのハブとしての役割を十分に果たせていません。

富山地方鉄道 鉄道及び路面電車の乗降客数（上位10箇所）



出典：国土数値情報2025年6月：2023年度（令和5年度）版

南富山駅舎の状況



- ・昭和42年竣工（築60年）
- ・令和6年能登半島地震により一部損傷
- ・バリアフリー対応が不十分
- ・待合スペースやトイレ等の設備が老朽化

「えき」に関わる課題

駅舎・ホーム・バス停が分離して配置されているほか、待合空間等が不十分となっており、利便性向上に向けた一体的な整備が求められます。そのほか、駅前空間では自動車・歩行者・自転車の動線が交錯しており、安全な歩行空間の確保が課題です。



「まち」に関わる課題

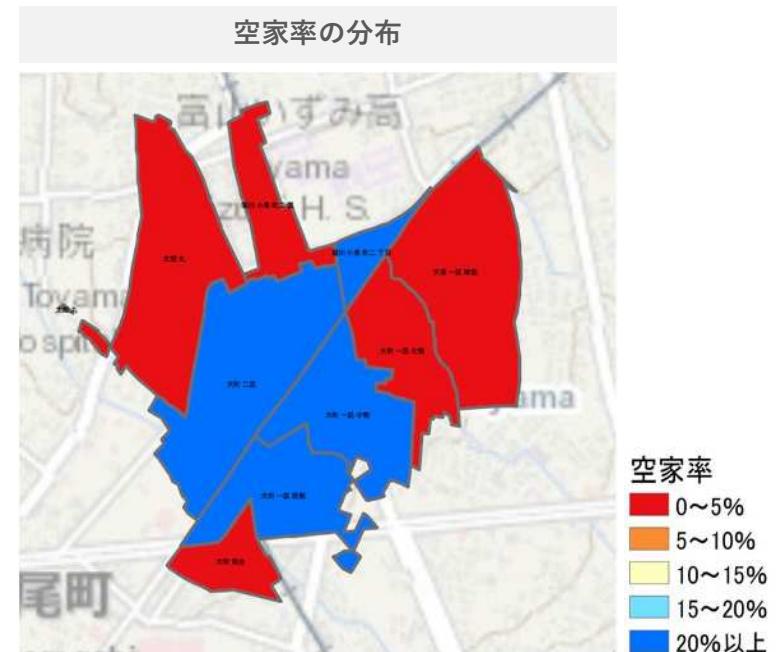
駅前道路では、通過交通が多く、安全性の低下や、朝夕には交通流の断続的な滞りが発生しています。



「まち」に関わる課題

周辺の住宅地では、空き家の増加や狭い道路の存在による災害時対応の脆弱性も課題となっています。

加えて、不二越上滝線の沿線まちづくりとして、地域特性を活かした商業・サービス・公共機能の集積による拠点性の向上が求められます。



出典:2023(R5).8時点のデータを基に、2018(H30)住居系建物数に対する空家数の割合を算出

「ひと」に関わる課題

南富山駅周辺は学生が多い文教地区であるにも関わらず、放課後や休日に滞在・交流できる空間が不足しており、平日日中の滞在者が少なくなっています。

南富山駅屋上からの眺め



「ひと」に関わる課題

一方で市民活動が活発に行われていることから、賑わいや魅力を創出する空間デザインの導入や、子育て世代・高齢者・学生など多様な世代が集い活動できる場の整備が必要です。

さらに、緑や自然を感じられる歩行者ネットワークの整備により、駅から住宅や学校への移動における快適な環境創出が求められます。

【南富山まちづくりを考える会とは？】

・2016（平成28）年に地元の有志により発足し、まち歩きや駅前空間を活用した社会実験、民有地を活用したキッチンカーマルシェなど、地域課題に目を向け、賑わいや魅力を創出するための活動が進められています

南富山まちづくりを考える会による活動



既存建築物を活用した企画



3. まちづくりの方針

次期富山市都市マスター プランにおける方針

南富山駅周辺の位置づけ

富山市南部の地域生活圏域を支える「地域生活拠点」

副次都市拠点

副次都市拠点の拠点像と取組方針

- ◎都心地区に近く、複数の公共交通が結節し、多様な市民の生活を支え、本市の社会経済活動の一躍を担う都市拠点
- ◎都市計画制度を活用した市街地整備などによる既存の都市機能や市街地の再生・更新を推進
- ◎人を中心のウォーカブルな都市空間、良好な居住環境や都市景観の形成を図り、都心地区と連携しながら、市民の生活や仕事を支え、また市民や来街者の活発な都市活動や交流が創出できる都市空間の形成を推進

地域別構想における方針



コンセプトとまちづくりの目標

■エリアコンセプト

エキ、マチ、ジブン。南富山で始める。南富山から始まる。

■目標①

交通と賑わいが調和し、 人とつながる、えきまちづくり

南富山駅の交通結節機能の強化に併せて、駅と広場が一体となった人を中心のえきまちづくりを推進します。

■目標②

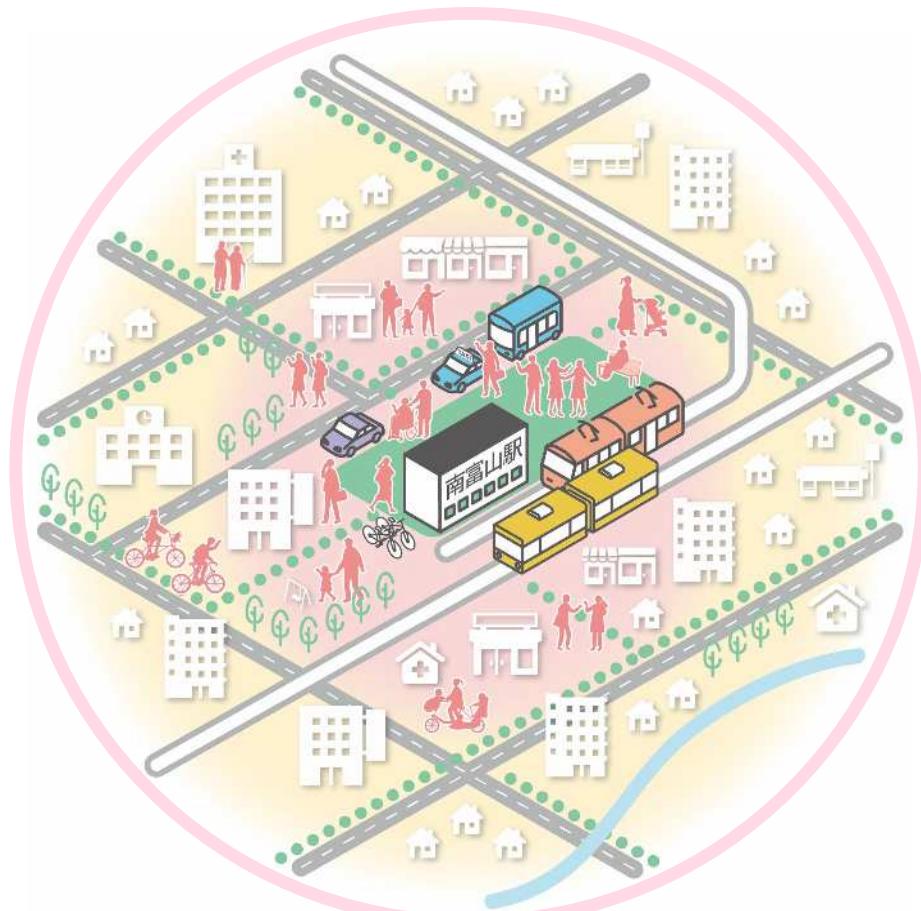
様々な人々が出会い、交流を生む、 歩きたくなるネットワークづくり

街並みや緑と調和した歩行者にとって安全で居心地のよく、歩きたくなるネットワークづくりを推進します。

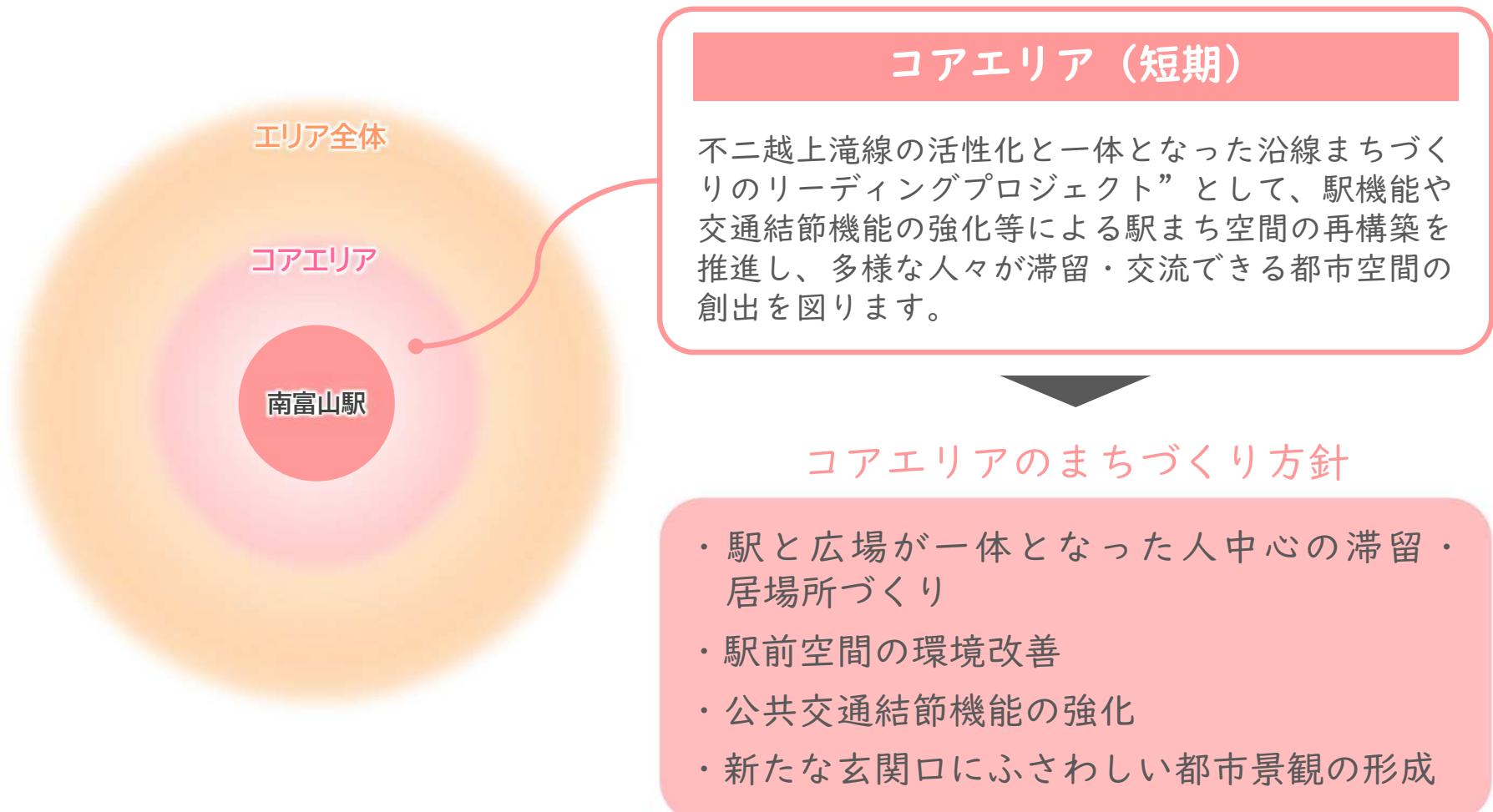
■目標③

まちと人がともに成長する 仕組みづくり

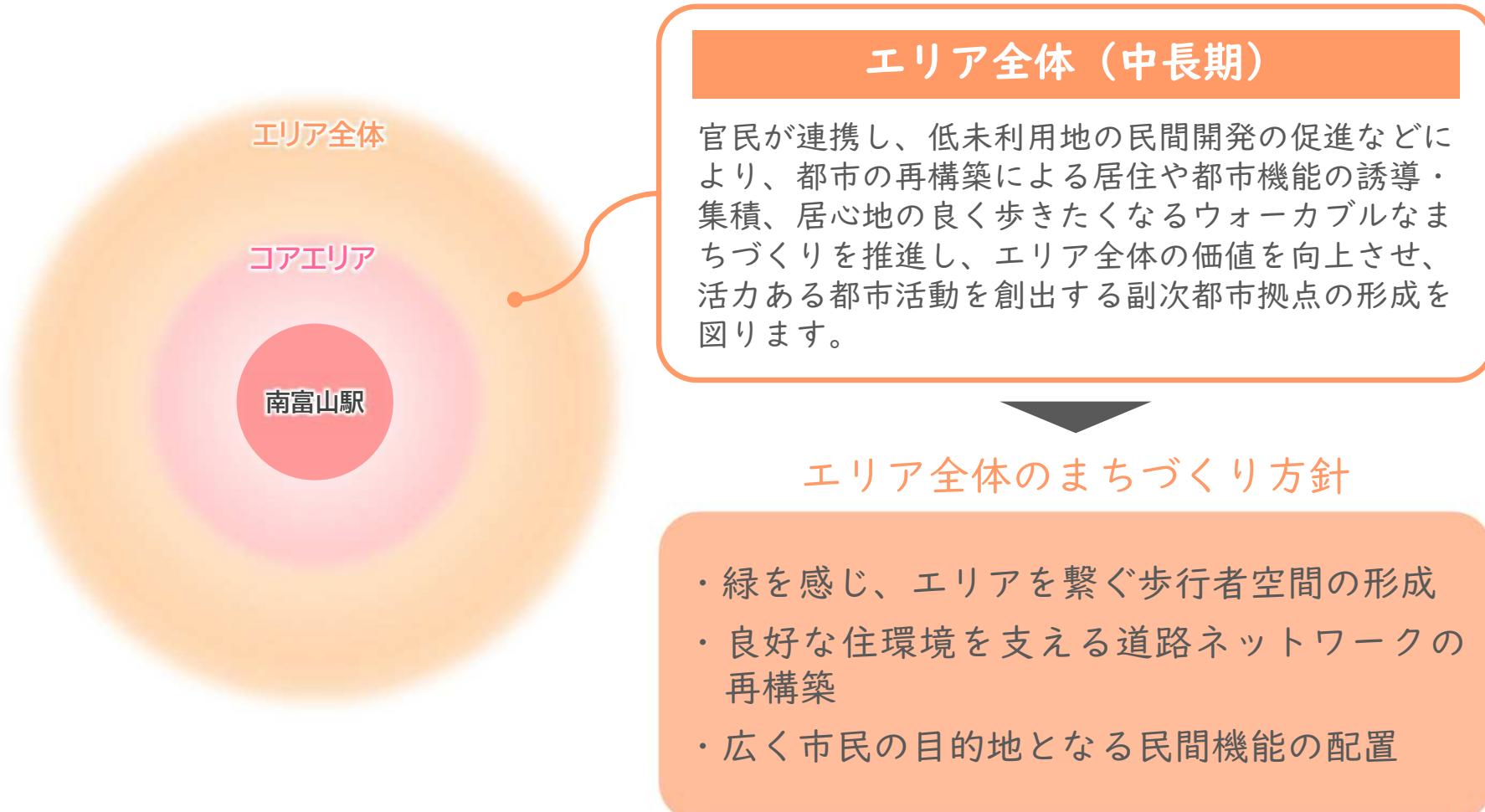
既存の市民活動などを支え、強化された都市アセット（資産）を活かした新たな活動を生み出す、まちと人がともに成長するエリアマネジメントを推進します。



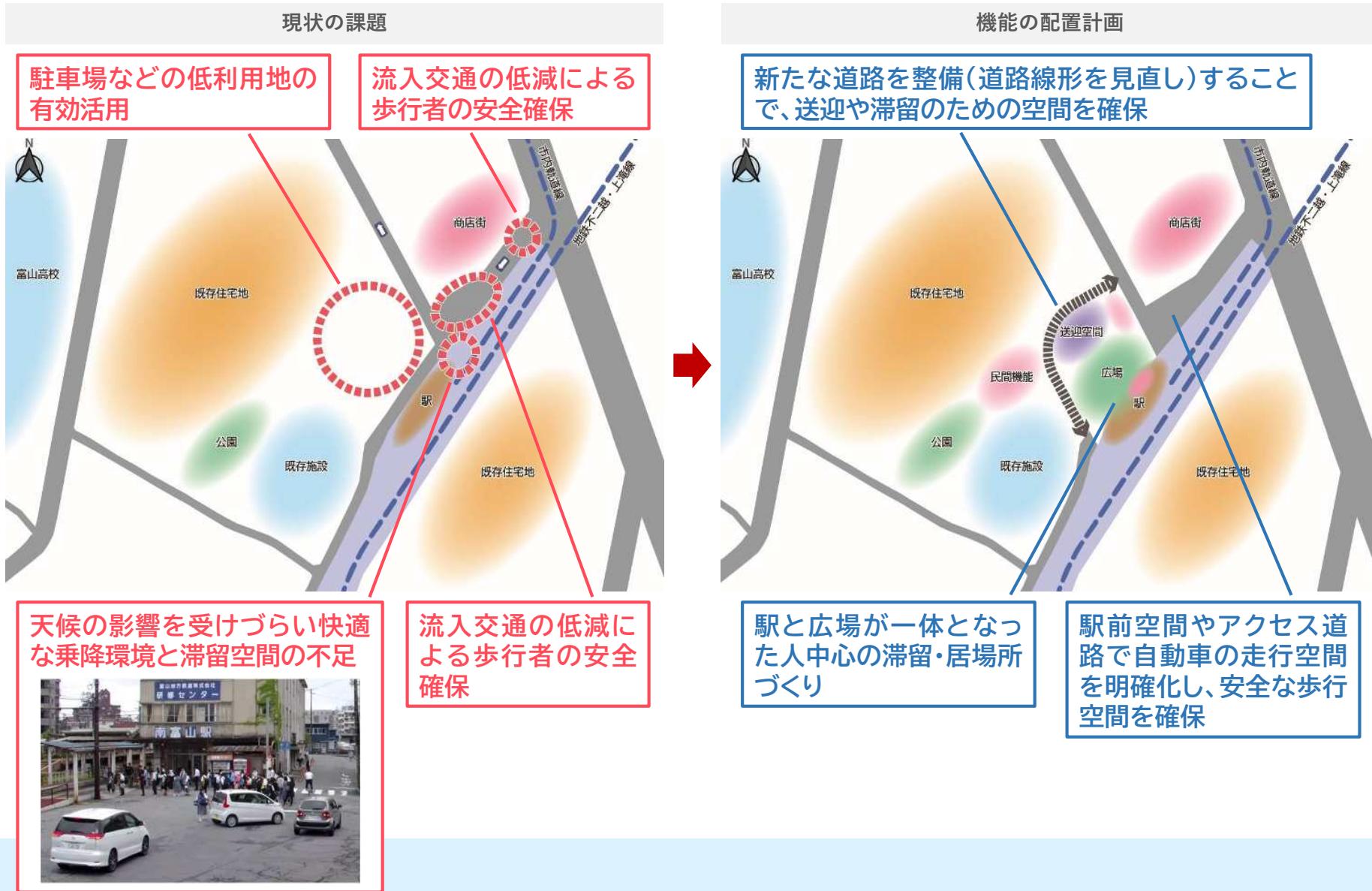
取組の方向性



取組の方向性



コアエリアの配置計画



コアエリアの整備方針

①駅と広場が一体となった人を中心の滞留・居場所づくり

《整備方針》多様な地域活動を支える広場・交流空間の整備

- ・天候に左右されずに多様なイベントや地域行事ができる、屋根付きの駅とつながる多目的な広場空間を整備
- ・学生や地域住民が日常的に集い、活動を支え、新たな学びの場となる交流空間を整備
- ・ヒト・モノ・コトのつながりを育む、地域の魅力などの情報が発信できる施設を整備

■駅と広場が一体となった空間 | 参考：広電西広島駅前の交流拠点「KOIPLACE」（広島市）



写真提供：広電建設株式会社

コアエリアの整備方針

②駅前空間の環境整備

《整備方針》人とクルマの空間分離、防災機能の充実

- ・駅前の交通の円滑化と安全性の確保を図る、歩行者と一般車の動線を分けた駅前空間を整備
- ・災害時にも活用可能なオープンスペースとして、防災機能を備えた駅前空間を整備

■安全安心な駅前空間 | 参考：南船橋駅（千葉県船橋市）



■アクセス性の高い道路 | 参考：ハレまち通り（岡山市）



出典：岡山市

コアエリアの整備方針

③公共交通結節機能の強化

《整備方針》公共交通の乗継や利用環境を高める施設の整備

- ・鉄道ホームや路面電車停留場のバリアフリー化にあわせ、上屋や乗継ホーム、待合空間を整備
- ・駅や広場利用者用の駐車場を確保するとともに、モビリティハブとして、一般車の送迎空間とコミュニティバス・タクシーの乗降空間などを整備
- ・自転車の走行空間を確保し、駐輪場を再整備

■乗り継ぎしやすい交通施設 | 参考：富山駅



■乗降場の明確なゾーニング | 参考：富山駅



コアエリアの整備方針

④新たな玄関口にふさわしい都市景観の形成

《整備方針》新たなまちのシンボルとなる駅舎・広場の整備

- ・まちのシンボルとなるデザイン性が高い駅舎と広場空間を整備し、南富山らしさを活かした新たな街並み景観の創出

■統一感ある駅前景観 | 参考：高山駅（岐阜県高山市）



写真提供：小野寺康都市設計事務所

エリア全体の取組方針

⑤広く市民の目的地となる民間機能の集積

《取組方針》 エリア価値及び拠点性を高める体制づくりや新たな民間機能の誘導の促進

- ・コアエリア周辺への民間機能の誘導を促進とともに、既存の取組みに加え、新たな都市機能を活用し、まちづくりへの参画を促す体制や仕組みづくりを推進
- ・駅舎や広場などの公共空間と民間機能を複合的に配置するなど、拠点性や利便性を高める施設整備を促進
- ・商店街と連携し、アーケード街と駅前空間の連携や利活用を促進

■昔ながらの町並みと現代的な利便性が融合した商業空間 | 参考：竹ノ塚駅高架下EQUiA（足立区）



出典：足立区資料

エリア全体の取組方針

⑥緑を感じ、エリアを繋ぐ歩行空間の形成

《取組方針》都市空間の再構築にあわせた緑の回廊の創出

- ・駅前広場や歩道沿いに樹木や低木、花壇を配置するなど、緑を感じられる安全で快適な歩行環境を創出
- ・駅舎や広場と一体的にデザインされた緑の回廊を創出

■緑の回廊 | 参考：下北線路街（東京都世田谷区）



エリア全体の取組方針

⑦良好な住環境を支える道路ネットワークの再構築

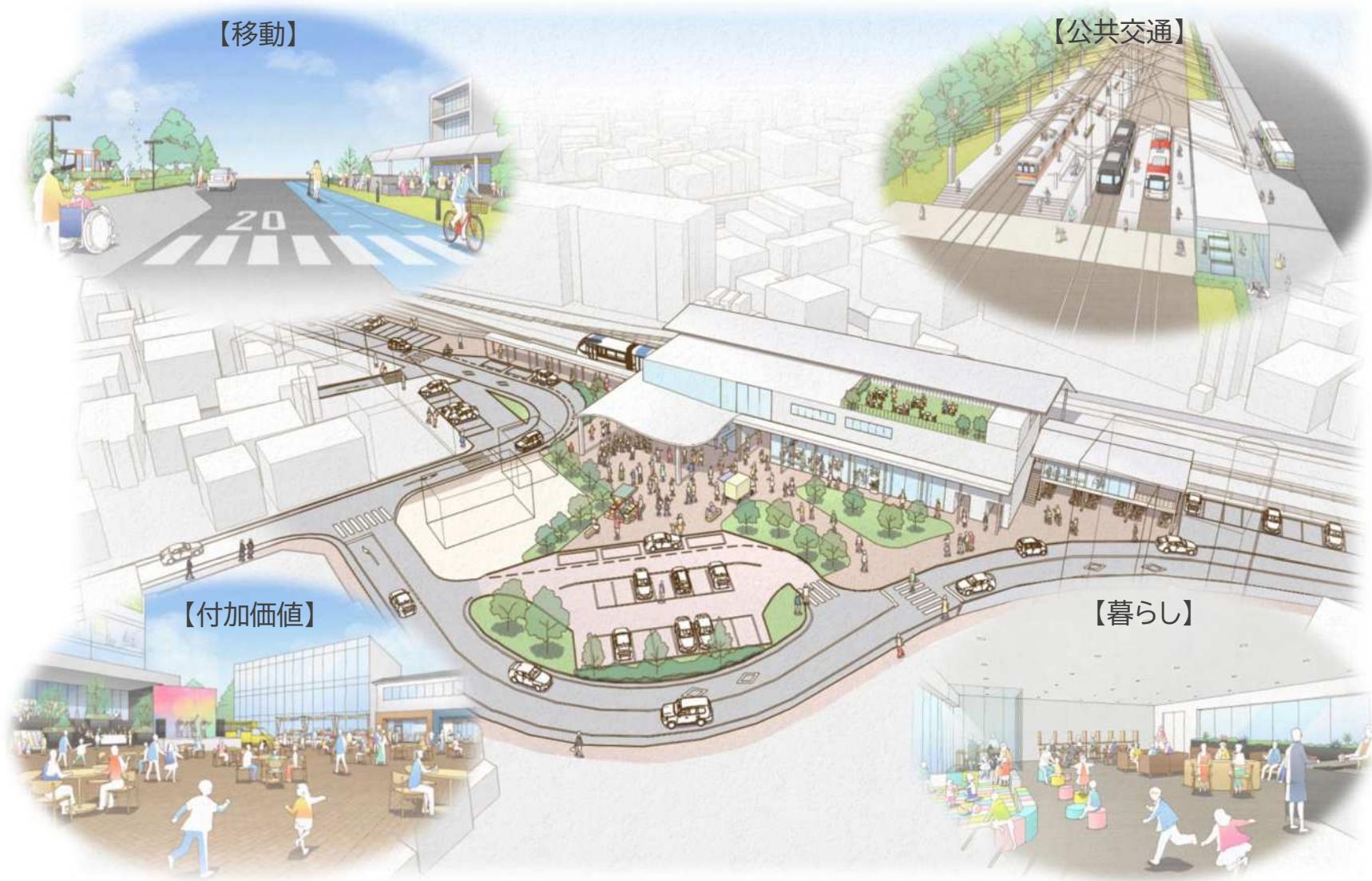
《取組方針》低未利用地の利活用による居住誘導を促すインフラ整備の促進

- ・官民が連携し、緊急時や災害時にも安全に通行でき、良好な住環境を創出し、空き家や空き地の利活用による居住誘導を促す道路空間を確保
- ・コアエリア整備後の状況等を踏まえ、新たな道路ネットワークの構築を検討

まちづくり方針図



コアエリアのイメージ図



4. 推進に向けた方策

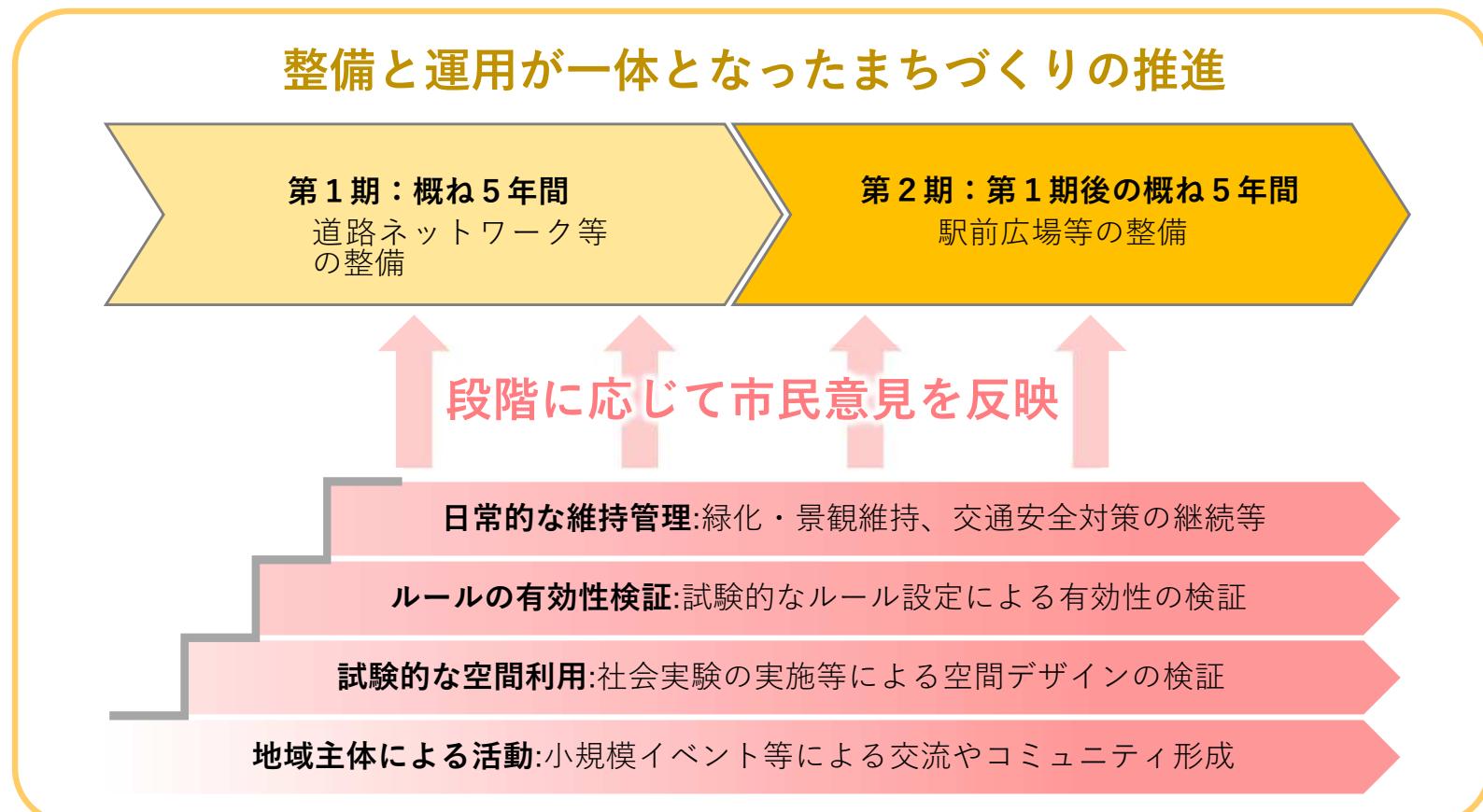
まちづくりのプレイヤーの存在

南富山駅周辺のまちづくりにおいては、様々なまちづくりのプレイヤーが強みや個性を生かしながら、相互に連携し、協働して取り組んでいきます。

主な関係者		取組内容
市民	南富山駅周辺に居住する地域住民、駅利用者、対話会の参加者等	イベント参加、地域活動への協力、駅前広場の美化・見守り、意見提供（アンケート・対話会）等
地域団体	自治振興会、南富山商盛会、南富山まちづくりを考える会等	地域イベントの企画・運営、情報発信、地域資源の活用、商店街活性化の推進等
教育機関	富山高等学校、富山いずみ高等学校、堀川中学校、富山大学、富山県立大学等	地域学習や交流イベントの協力、学生ボランティア活動、まちづくりに関する提案・アイデア提供等
交通事業者等	富山地方鉄道株式会社、堀川南地域コミュニティバス	駅前空間の利便性向上、公共交通サービスの改善、利用促進策の検討、社会実験への協力等
民間事業者	商業事業者、飲食店事業者、不動産事業者、建設事業者、廣告・デザイン事業者等	商業・飲食サービスの充実、新規事業展開、駅前広場でのイベント協力、廣告・デザインによる魅力発信等
行政	富山市	基本計画・整備計画の策定・推進、関係者調整、情報発信、規制緩和や支援制度の整備等

事業推進の考え方

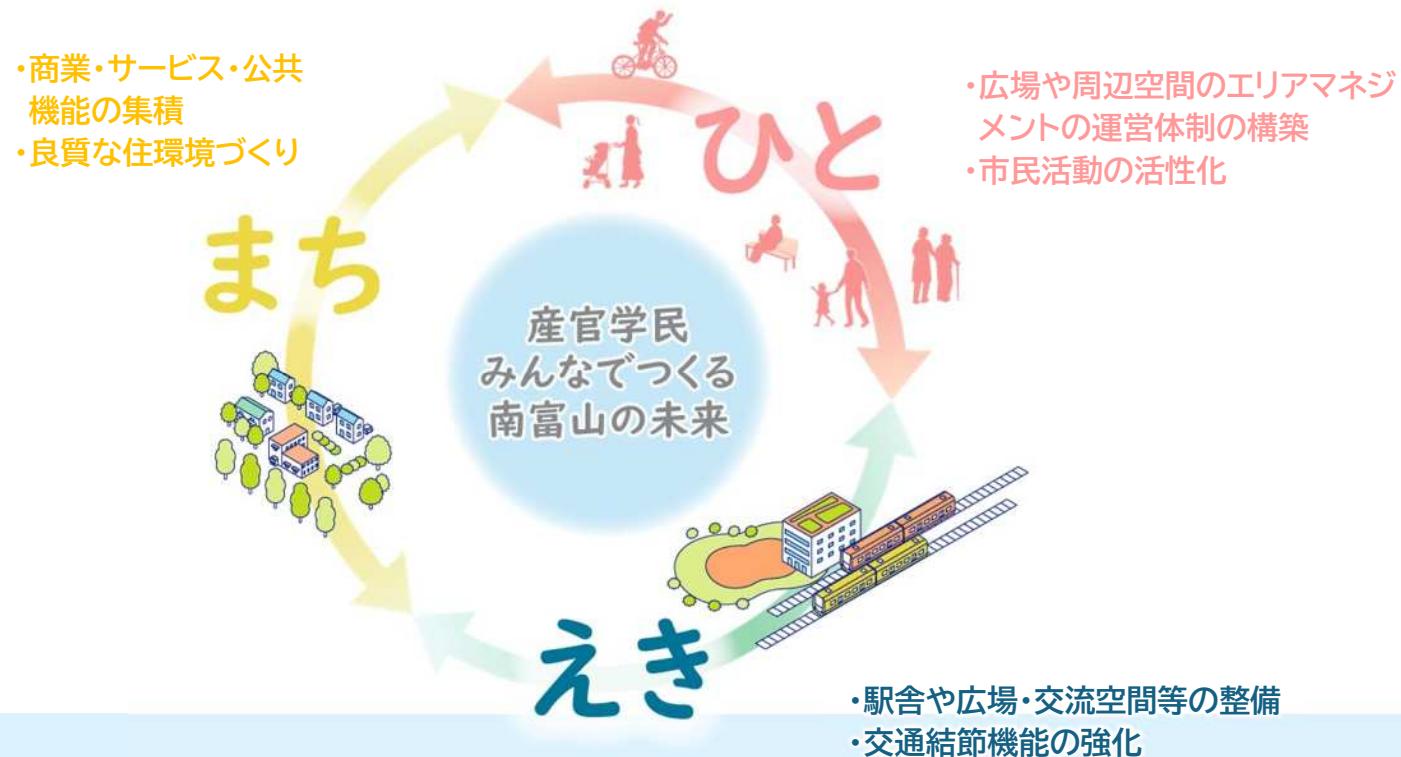
基本計画の推進にあたっては、地域の声を反映し、関係者との協議を重ねながら段階的に整備を進めます。さらに、具体的な整備と運用が一体となったまちづくりを推進しながら、地域に根ざした公共空間の形成と、地域参加によるまちの価値向上を目指します。



地域による運営体制づくり

地域による活動を基盤として、南富山駅周辺整備事業や機能集積と連携しながら、広場や周辺空間の管理・運営においても、収入源確保等の柔軟な仕組みを検討します。そして、地域の合意に基づく利活用ルールの策定・運用を進めることで、エリアマネジメントに向けた運営体制を構築し、多様な主体が役割を分担し力を合わせることで、南富山らしい持続可能で魅力あるまちづくりの実現を目指します。

南富山駅周辺の持続可能で魅力あるまちづくり





南富山駅周辺 まちづくり基本計画

概要版

(案)

令和8(2026)年1月時点

富山市 活力都市創造部都市計画課